

平成26年度（第1回）
 水稻病虫害発生状況調査及び生育診断圃調査の結果について
 （実施日 平成26年6月23日（月））

| | |
|-------|---|
| いもち病 | いもち病の発生は見られませんでした。しかし、向こう1か月間の気象予測によると、平年並みに曇りや雨の日が多いとされています。今年度は補植用取置苗での発生が例年より早い時期に確認されているところもあり、今後の注意が必要です。 |
| 紋枯病 | — |
| ウンカ類 | ツマグロヨコバイの発生がわずかに認められたものの、梅雨前線とともに飛来するセジロウンカ、トビイロウンカの成虫は認められませんでした。しかし、本年も九州では発生が確認されており、今後多飛来した場合は注意が必要です。 |
| カメムシ類 | 畦畔の草刈りはよく実施されており、発生はほとんど見られませんでした。但し今後もカメムシの発生が予想されるので、出穂の2～3週間前（7月上中旬）までには畔草刈を実施してください。 |
| その他 | イネミズゾウムシは、本田調査では認められず、箱施用剤により抑えられていると考えられます。 フタオビコガヤ（イネアオムシ）は今回の調査では認められませんでした。7月に入ってから発生消長に注意してください。 ニカメイチュウの食害株は見られませんでした。近年多発生している地域では、越冬している可能性が高く、今後の発生に注意してください。 |
| 生育状況 | 生育はほぼ平年並みに推移しています。茎数が1株あたり15本を超えるようになりましたら、中干しを実施してください。茎数が非常に多いほ場もあり、いもち病の発生等に注意が必要です。 平均草丈　養父市　39.3cm（昨年54.2cm） 朝来市　40.7cm（昨年44.9cm） 平均茎数　養父市　13.9本（昨年22.1本） 朝来市　32.7本（昨年26.8本） |

（※ 詳細は普及センター、農協の営農指導員又は南但広域農業共済課職員にお問い合わせください。）

※ 次回の調査は7月23日（水）です。

【問合せ先】
 南但広域行政事務組合農業共済課
 TEL 079-665-0215